

国際生物多様性の日シンポジウム

生物多様性と食と健康

～SDGsを身近に～



フリーアナウンサー 小谷あゆみ氏



宮城県漁業協同組合 後藤 清広氏

2019 年
5 月 11 日 (土)

14:00～17:00

国連大学

エリザベス・ローズ国際会議場

参加無料・定員:110名

我々が得ている生物多様性の恵みの中で、最も身近なものは食料です。現在の日本の食卓には、世界各地からの多様な食材がのぼっていますが、一方で、世界では食料に利用される種数が限定されつつあり、また、食料資源の持続可能性や食料生産による環境への悪影響も問題となっています。

本シンポジウムでは、我々の日々の食卓に目を向け、将来にわたり持続的に食料を得て、そして健康に生活していくための様々な選択を考えるとともに、持続可能な食料生産により地域を活性化している事例を取り上げます。

こうした事例をもとに、生物多様性と食料生産の調和がSDGsの多くのゴールの達成に資することを確認し、地域循環共生圏の実現につなげます。

主催:



協力:



国連生物多様性の10年日本委員会
Japan Committee for UNDB

NPO 法人 Farmer's Market Association

プログラム

(敬称略)

14:00～ **主催者挨拶** 環境省

14:05～ **ビデオメッセージ**

クリスティアナ・パスカ・パルマー

生物多様性条約 (CBD) 事務局長・国連事務次長補

14:15～ **基調講演**

武内 和彦

国連大学サステナビリティ高等研究所 (UNU-IAS) 上級客員教授

公益財団法人 地球環境戦略研究機関 (IGES) 理事長

東京大学未来ビジョン研究センター特任教授

14:45～ **基調報告①** 小谷 あゆみ フリーアナウンサー

基調報告② 後藤 清広 宮城県漁業協同組合 志津川支所 戸倉出張所 カキ部会長

15:25～ 休憩

15:45～ **パネルディスカッション**

■ファシリテーター

星野 智子 地球環境パートナーシッププラザ (GEOC)

■パネリスト

鈴木 隆博 イオン株式会社 グループ環境・社会貢献部 部長代行

小谷 あゆみ フリーアナウンサー

後藤 清広 宮城県漁業協同組合 志津川支所 戸倉出張所 カキ部会長

イヴォーン・ユー UNU-IAS リサーチフェロー

鳥居 敏男 環境省大臣官房審議官

17:00～ **閉会挨拶**

渡辺 綱男 UNU-IAS シニアプログラムコーディネーター

<司会> 山田 愛里 UNU-IAS コミュニケーションズ・アソシエイト

■会場案内



■ 参加申込・問い合わせ先

国際生物多様性の日シンポジウム 事務局

一般社団法人環境パートナーシップ会議

TEL : 03-5468-8405

E-mail : info@epc.or.jp

下記 Web サイトより、お申し込みください。

先着順での受付となります。

https://epc.or.jp/pp_dept/190511

■アクセス：渋谷駅から徒歩 10 分。地下鉄表参道駅出口 B2（銀座線、半蔵門線、千代田線）から徒歩 5 分。